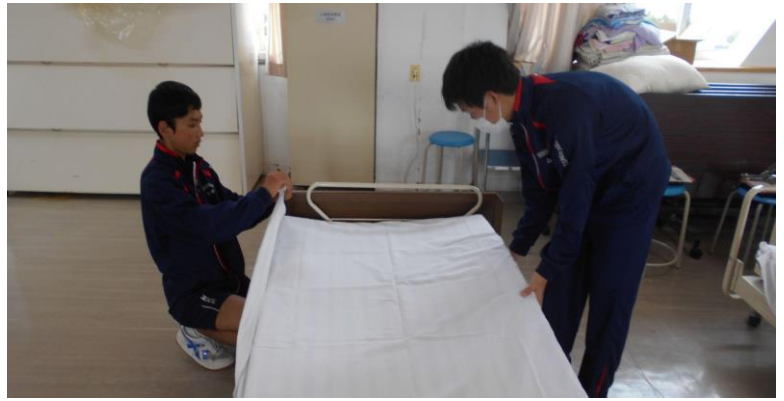


ベッドメイキングの実習を行いました

2023. 5. 26(金)

2年福祉コースが「ベッドメイキング」の実習を行いました。実際にベッドメイキングの方法について学び、友達や先生方に教わりながら実習を行いました。ベッドメイキングをする際のポイントや注意点をおさえながら、楽しく実習できました。



〈実習のポイント〉

- ・シーツをマットレスの下に入れるときは手のひらを下にする。
- ・膝を床につけない。
- ・ベッドの頭側を通らない。
- ・シーツをずれにくくするために三角折りにする。

〈実習でうまくできたこと〉

- ・二人で作業するときは声をかけあいながら協力してシーツを敷くことができた。
- ・シーツを伸ばすことによって最初よりもうまくなるようになり、きれいな見た目になった。

〈感想〉

- ・シーツを敷くことは簡単なことだと思っていましたが、自分の思っている以上に難しいことがわかった。
- ・ポイントや注意点をしっかり押さえて、次はスムーズにできるようにしたい。

車いすの移動体験をしました

2023. 5. 29(月)

3年生福祉コースの先輩に教えてもらいながらペアになり、車いすでの移動を体験しました。利用者、介助者の立場の両方を体験し、車いすのことを詳しく学びました。



車いすで移動している様子



自走をしている様子



段差を登っている様子

〈感想〉

・車いすの利用者と介助者のそれぞれの立場から詳しく学ぶことができた。

・車いすに乗っている人がびっくりしないように段差に気を付けたり、溝をそのまま進まずに斜めに入ってタイヤが挟まらないようにしたりする

など、利用者のことも考えて車いすを押すことができた。

- ・自走体験のときには、曲がりたい方向に車いすを操作することが難しいということが分かった。そのため、これから車いすを利用している方を見つけたら道を広く開けたいと思った。

高齢者疑似体験をしました

2023. 5. 26(金)



↑軍手をつけて、スプーンを試してみる



↑重りとタオルをつけて関節を動かしてみる



↑軍手をつけて辞書を試してみる



↑重りと白内障眼鏡をつけて階段を上り下りしてみる

〈感想〉

- ・軍手をつけて手の感覚を鈍くする。
⇒手の感覚が鈍くなることでスプーンがつかみにくくなったり、辞書のページがめくりにくくなったりした。
- ・タオルや重りを関節に巻いて、肘や膝を曲げにくくする
⇒肘や膝が曲げられないので階段の上り下りが難しくなったり、ベッドに上るだけでも時間がかかったりした。
- ・白内障が体験できるゴーグルを付けた
⇒移動するとき足元が見えにくくなり歩くスピードが遅くなったり、辞書の文字が見えにくくなったりした。

高齢者の方々の日常生活は、私たちが思っている以上に大変なことがわかりました。これらの体験を通して、もっと高齢者が生活しやすい世の中になってほしいと強く思いました。

生徒玄関前の花壇を整備しました

2022. 6. 12(月)

救護施設「八尾園」の職員の島滝さん、前田さんに指導していただき花を植えました。八尾園で栽培しているサルビアとマリーゴールド（黄、オレンジ、オレンジと赤の複色）の苗とプランターをいただき、花の植え方や水やり、手入れの方法を教わりました。



〈感想〉

- ・花の色の配置を考えてプランターに植えることができました。
- ・花を植えるときに花が傾かないように植えることが難しかったです。

- ・花壇の前を通る際にきれいに咲いているのを見て心が癒されました。
- ・花が成長していく様子を毎朝玄関で見ることが1日のエネルギーになっています。
- ・最初に見た時よりもマリーゴールドは大きくなっていたり、サルビアは赤い花を咲かせていたりして嬉しかったです。

歩行介助の授業を受けました

2023. 6. 16(金)

富山老人保健施設介護福祉士の牧野 茜先生から、杖の使用方法や階段での歩行方法を学びました。高齢者疑似体験セットを使用し、実際の利用者の観点に近い体験をしたことが印象に残っています。



〈感想〉

- ・最初は杖の使い方が分からなかったけれど、ゆっくり練習していくうちに、だんだんうまくバランスをとって歩けるようになりました。
- ・介助者は利用者の様子や表情を観察して、利用者のペースに合わせて、声をかけながらサポートしていくことが大切だと思いました。
- ・実際に利用者の立場になると、杖歩行は時間がかかり、階段の上り下りが難しかったです。そのため、介助者がいることで安心できたし、スムーズに行動できました。

体位変換の授業を受けました

2023. 6. 23(金)

富山老人保健施設介護福祉士の牧野 茜先生に、お手本を示してもらいながら、片まひの状況設定に合わせて様々な体位変換の仕方を教わりました。二人一組のペアで交代しながら、利用者の立場と介護者の立場になってみてそれぞれどんな気持ちなのかを感じることができました。ボディメカニクスもうまく利用することで、負担を軽減することもわかりました。



〈実習のポイント〉

- ・体位変換をするときは、利用者さんへの挨拶と体調確認を必ず行う。
- ・利用者さんの力も借りて、からだを寝やすい格好に変える。
- ・ボディメカニクスを利用して、からだへの負担をできるだけ少なくする。

〈感想〉

- ・ボディメカニクスを使うととても簡単にできた！
- ・介護する側とされる側の両方の気持ちを体験することで、新しく知ることもあってとても興味深かった。
- ・友人と教えあったり、アドバイスしたりしながら学ぶことができて楽しかった。
- ・体位変換をもっとうまくできるようになりたいと思った。
- ・介護などの仕事に興味を持った。